

OPA Reagent

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: OPA Reagent
部品番号	: 5061-3335
供給者/ 製造者	: 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社
	住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1
	電話番号 +81-42-660-3111
緊急連絡電話番号(受付時間)	: CHEMTREC®: +(81)-345209637
化学製品の推奨される用途	: 分析化学研究所用の試薬および基準 6 x 1 ml アンプル
使用上の制限	: 情報なし。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

H290	金属腐食性化学品 - 区分1
H302	急性毒性(経口) - 区分4
H314	皮膚腐食性 - 区分1
H318	眼に対する重篤な損傷 - 区分1
H334	呼吸器感受性 - 区分1
H317	皮膚感受性 - 区分1
H360	生殖毒性 - 区分1B
H371	特定標的臓器毒性(単回ばく露) - 区分2
H373	特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分2
H401	水生環境有害性 短期(急性) - 区分2
H411	水生環境有害性 長期(慢性) - 区分2

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H290 - 金属腐食のおそれ
 H302 - 飲み込むと有害
 H314 - 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
 H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 H334 - 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
 H360 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 H371 - 臓器の障害のおそれ(中枢神経系、呼吸器)
 H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(生殖器(男性)、呼吸器、甲状腺)
 H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

: P201 - 使用前に取扱説明書を入手すること。
 P202 - 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 P280 - 保護手袋、保護衣及び保護眼鏡又は保護面を着用すること。
 P284 - 呼吸用保護具を着用すること。
 P234 - 他の容器に移し替えないこと。
 P273 - 環境への放出を避けること。
 P260 - 蒸気を吸入しないこと。
 P270 - この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P264 - 取扱い後はよく洗うこと。
 P272 - 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

2. 危険有害性の要約

応急措置

- : P391 - 漏出物を回収すること。
- P390 - 物的被害を防止するために流出したものを吸収すること。
- P308 + P311 - ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
- P304 + P340, P310 - 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。ただちに医師に連絡すること。
- P342 + P311 - 呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。
- P301 + P310, P330, P331 - 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- P303 + P361 + P353, P310 - 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。ただちに医師に連絡すること。
- P363 - 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- P302 + P352 - 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
- P333 + P313 - 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察又は手当てを受けること。
- P305 + P351 + P338, P310 - 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。

保管

- : P405 - 施錠して保管すること。
- P406 - 耐腐食性内張りのある耐腐食性容器に保管すること。

廃棄

- : P501 - 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。

補足的なラベル要素

- : 飲み込まないこと。取扱い後はよく洗うこと。

その他の危険有害性

- : 消化管に重度の炎症を引き起こす。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分

: 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	CAS登録番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
Ⓢ酸化カリウム	≤10	1310-58-3	1-369	(1)-369
ホウ酸	≤10	10043-35-3	1-63	(1)-63
β-メルカプトプロピオン酸	≤10	107-96-0	2-1381	(2)-1381
メタノール	≤10	67-56-1	2-201	(2)-201
フタルアルデヒド	≤10	643-79-8	3-1145	(3)-1145
チオシアン酸カリウム	≤10	333-20-0	1-152	(1)-152
ポリ(オキシエチレン)＝ドデシル＝エーテル	≤10	9002-92-0	7-97	(7)-97

4. 応急措置

吸入した場合

- : 直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。

皮膚に付着した場合

- : 直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣服および靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。

眼に入った場合

- : 直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。

4. 応急措置

飲み込んだ場合 : 直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

予想される急性健康影響

吸入した場合 : 吸入すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ

皮膚に付着した場合 : 重度のやけどを引き起こす。皮膚に接触すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

眼に入った場合 : 重篤な眼の損傷

飲み込んだ場合 : 消化管に対して極めて腐食性。重度のやけどを引き起こす。飲み込むと有害 飲み込むと、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。

過剰にばく露した場合の徴候症状

吸入した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
喘鳴および呼吸困難
喘息
胎児体重の減少
子宮内胎児死亡の増加
骨格の変形

皮膚に付着した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み及び刺激
充血
水ぶくれになることがある
胎児体重の減少
子宮内胎児死亡の増加
骨格の変形

眼に入った場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み
流涙
充血

飲み込んだ場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
胃痛
胎児体重の減少
子宮内胎児死亡の増加
骨格の変形

応急処置をする者の保護 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。

医師に対する特別な注意事項 : 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。本製品は水生生物に対して有毒であり、長期にわたり持続する影響を有する。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素
窒素酸化物
硫黄酸化物類
金属酸化物
ホルムアルデヒド

5. 火災時の措置

- 特有の消火方法** : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置** : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 非緊急時対応要員について** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気やミストを呼吸しない。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時対応要員について** : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報を注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項

- 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。漏出物を回収すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

- 安全取扱注意事項** : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。皮膚感作障害あるいは喘息、アレルギー、慢性または頻発呼吸器疾患の病歴を持つ者を、本製剤が使用されるいかなる工程にも就業させてはならない。暴露を避けること—使用前に取扱説明書を手すること。妊娠中は暴露を避ける。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。蒸気やミストを呼吸しない。摂取してはならない。環境への放出を避けること。換気が十分な場所でのみ使用する。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。容器を再利用してはならない。物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

衛生対策

- 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件

- 以下の温度範囲で保管する: 2 から 8°C (35.6 から 46.4°F)。現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。施錠して保管すること。金属から遠ざけること。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- 換気が十分な場所でのみ使用する。ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。

ばく露限界

8. ばく露防止及び保護措置

化学名又は一般名	ばく露限界値
水酸化カリウム メタノール	日本産業衛生学会 (日本, 9/2022)。 OEL-C: 2 mg/m ³ 日本産業衛生学会 (日本, 9/2022)。皮膚から吸収。 OEL-M: 200 ppm 8 時間。 OEL-M: 260 mg/m ³ 8 時間。 労働安全衛生法 (日本, 6/2020)。 管理濃度: 200 ppm 8 時間。

生物学的暴露指数

化学名又は一般名	露出指数
メタノール	日本産業衛生学会 (日本, 9/2022) BEI: 20 mg/l, メタノール [に 尿]. サンプルング時間: 作業終了時。

保護具

- 呼吸用保護具** : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。
- 手の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。
- 眼、顔面の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 化学物質用飛沫防止ゴーグルおよび/またはフェースシールド 吸入危険有害性が存在する場合には、代わりにフルフェース呼吸保護具が必要な場合もある。
- 皮膚及び身体の保護具** : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

- 物理状態 : 液体
- 色 : 黄色。[淡い]
- 臭い : 弱い
- 臭いのしきい値 : 情報なし。
- pH : 10.4
- 融点/凝固点 : 情報なし。
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : 情報なし。

引火点

化学名又は一般名	密閉式			開放式		
	°C	F	方法	°C	F	方法
メタノール	9.7	49.5	Abel-Pensky	-	-	-
フタルアルデヒド	>110	>230	セタフラッシュ	-	-	-

- 蒸発速度 : <1 (酢酸ブチル = 1)
- 可燃性 : 該当しない
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : 情報なし。
- 蒸気圧 :

9. 物理的及び化学的性質

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
メタノール	126.96329	16.9	-	-	-	-
水	17.5	2.3	-	92.258	12.3	-

相対ガス密度 : 情報なし。

相対密度 : 1.045

密度 : 1.045 g/cm³

溶解度	メディア	結果
水		可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール/水分配係数 : 該当しない

自然発火点	化学名又は一般名	°C	°F	方法
	メタノール	455	851	DIN 51794

分解温度 : 情報なし。

粘度 : 情報なし。

粒子特性
中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

追加情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 次の物質と反応性あるいは危険配合性:
金属
次の物質と反応性あるいは危険配合性: 還元性物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	ばく露時間
水酸化カリウム ホウ酸	LD50 経口	ラット	273 mg/kg	-
	LC50 吸入した場合 微塵および噴霧	ラット - オス、メス	>2.12 mg/l	4 時間
β-メルカプトプロピオン酸	LD50 経皮	ウサギ - オス、メス	>2000 mg/kg	-
	LC50 吸入した場合 微塵および噴霧	ラット - オス、メス	1818 mg/m ³	4 時間
メタノール	LD50 経口	ラット	96 mg/kg	-
	LC50 吸入した場合 蒸気	ラット	189.95 mg/l	1 時間
	LC50 吸入した場合 蒸気	ラット	145000 ppm	1 時間

11. 有害性情報

フタルアルデヒド	LC50 吸入した場合 蒸気	ラット	83.84 mg/l	4 時間
	LC50 吸入した場合 蒸気	ラット	64000 ppm	4 時間
チオシアン酸カリウム ポリ(オキシエチレン) = ドデシル = エーテル	LD50 経皮	ウサギ	15800 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	5600 mg/kg	-
	LD50 経皮	ラット	>2000 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	238.12 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	854 mg/kg	-
	LD50 経皮	ラット - オス、メ ス ラット - メス	>2000 mg/kg 1000 mg/kg	- -

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん/ミスト) (mg/l)
OPA Reagent	1501.1	15000.0	N/A	150.0	90.9
水酸化カリウム	273	N/A	N/A	N/A	N/A
ホウ酸	5100	N/A	N/A	N/A	N/A
β-メルカプトプロピオン酸	96	N/A	N/A	N/A	1.818
メタノール	100	300	N/A	3	N/A
フタルアルデヒド	238.12	2500	N/A	N/A	N/A
チオシアン酸カリウム	854	N/A	N/A	N/A	N/A
ポリ(オキシエチレン) = ドデシル = エーテル	1000	2500	N/A	N/A	N/A

刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	ばく露時間	観察
水酸化カリウム	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 1 mg	-
	皮膚 - 強度の刺激	モルモット	-	24 時間 50 mg	-
メタノール	皮膚 - 強度の刺激	ウサギ	-	24 時間 50 mg	-
	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 100 mg	-
ポリ(オキシエチレン) = ドデシル = エーテル	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	40 mg	-
	皮膚 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 20 mg	-
	眼 - 強度の刺激	ウサギ	-	24 時間 750 ug	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
	皮膚 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-

呼吸器感作/皮膚感作

情報なし。

生殖細胞変異原性

結論/要約 : 情報なし。

発がん性

結論/要約 : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約 : 情報なし。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

名称	カテゴリー	暴露経路	標的臓器
水酸化カリウム β-メルカプトプロピオン酸	区分1	-	呼吸器
	区分1	-	中枢神経系
	区分3	-	気道刺激性
メタノール	区分1	-	中枢神経系、視神経
フタルアルデヒド	区分1	-	呼吸器
ポリ(オキシエチレン) = ドデシル = エーテル	区分3	-	麻酔作用

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

名称	カテゴリー	暴露経路	標的臓器
水酸化カリウム フタルアルデヒド	区分1	-	呼吸器
	区分1	-	生殖器(男性)、呼吸器
チオシアン酸カリウム	区分1	-	甲状腺

11. 有害性情報

誤えん有害性

名称	結果
水酸化カリウム	誤えん有害性 - 区分1

その他の情報

: 有害症状には以下の症状が含まれる: 眼のかすみあるいは複視, 眼に接触すると, 角膜損傷や失明の原因となる。繰り返しあるいは長期間暴露すると, 肝障害を引き起こすことがある。麻薬作用: 神経系障害を引き起こすことがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	ばく露時間
水酸化カリウム ホウ酸	急性 LC50 80 ppm 真水	魚類 - Gambusia affinis - 成体	96 時間
	急性 LC50 45.5 mg/l 真水	甲殻類 - Ceriodaphnia dubia	48 時間
	急性 LC50 133000 µg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
β -メルカプトプロピオン酸	急性 LC50 75 mg/l 海水	魚類 - Pagrus major	96 時間
	慢性 NOEC 6000 µg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna	21 日
	慢性 NOEC 2100 µg/l 真水	魚類 - Oncorhynchus mykiss	87 日
	急性 EC50 26 mg/l 真水	藻類	72 時間
	急性 EC50 9 mg/l 真水	ミジンコ類	48 時間
	急性 LC50 98 mg/l 真水	魚類	96 時間
メタノール	急性 NOEC 4.1 mg/l 真水	藻類	72 時間
	急性 EC50 2736 mg/l 海水	藻類 - Ulva pertusa	96 時間
	急性 LC50 2500000 µg/l 海水	甲殻類 - Crangon crangon - 成体	48 時間
	急性 LC50 3289 mg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
フタルアルデヒド	急性 LC50 290 mg/l 真水	魚類 - Danio rerio - 卵	96 時間
	慢性 NOEC 9.96 mg/l 海水	藻類 - Ulva pertusa	96 時間
	急性 EC50 90 ppb 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna	48 時間
チオシアン酸カリウム	急性 LC50 20 ppb 真水	魚類 - Oncorhynchus mykiss	96 時間
	急性 LC50 11000 µg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia pulex	48 時間
	急性 LC50 20.8 mg/l 真水	魚類 - Oncorhynchus mykiss	96 時間
	慢性 NOEC 1100 µg/l 真水	魚類 - Lepomis macrochirus - 幼若体 (ひな鳥、孵化したての幼魚、離乳子畜)	124 日
ポリ(オキシエチレン) = ドデシル = エーテル	急性 LC50 6460 µg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna	48 時間
	急性 LC50 1500 µg/l 真水	魚類 - Salmo salar - パー(幼鮭)	96 時間

残留性・分解性

製品 / 成分の名称	テスト	結果	投与量	植種源
β -メルカプトプロピオン酸	301A Ready Biodegradability - DOC Die-Away Test	96 含有量(%) - 容易 - 28 日	-	-

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
ホウ酸	-	-	容易ではない
β -メルカプトプロピオン酸	-	-	容易
メタノール	-	-	容易

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	LogP _{ow}	BCF	可能性
ホウ酸	-1.09	-	低
β -メルカプトプロピオン酸	-2.32	-	低
メタノール	-0.77	<10	低
フタルアルデヒド	0.99	-	低
チオシアン酸カリウム	-2.52	-	低

12. 環境影響情報

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

追加情報

備考: デミニミスの免除

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 国連輸送名 : Potassium hydroxide solution
備考 : 液体ばら積み貨物
船舶の形式: 3
汚染区分: Y

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名/種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第四類危険物	以下を含む物質: 第三石油類(水溶性)	III	火気厳禁	4000 L
	以下を含む物質: 飽和一価アルコール	II	火気厳禁	400 L

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	状況	整理番号
水酸化カリウム	該当	316
ほう酸及びそのナトリウム塩	該当	544
メタノール	該当	560

名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
水酸化カリウム	5.0	該当	316
ほう酸及びそのナトリウム塩	3.0	該当	544
メタノール	2.0	該当	560

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
α-アルキル(C12~15)-ω-ヒドロキシポリ(オキシエチレン)(数平均分子量が1,000未満のものに限る。)	優先評価化学物質	189

毒物及び劇物取締法

15. 適用法令

非該当

[特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 \(PRTR\) – 2023年3月まで](#)

非該当

[化学物質排出把握管理促進法 – 2023年4月から](#)

非該当

特別管理産業廃棄物 : 該当

インベントリリスト

- 日本 : 日本インベントリ(化審法既存及び新規公示化学物質): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
日本インベントリ(ISHL): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
- 米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

- 発行日/改訂版の日付 : 2024/05/08
- 前作成日 : 2023/03/13
- バージョン : 8

- 略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA = 国際航空輸送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。("Marpol" = 海洋汚染)
N/A = データなし
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
金属腐食性化学品 – 区分1	専門家の判断
急性毒性 (経口) – 区分4	算出方法
皮膚腐食性 – 区分1	算出方法
眼に対する重篤な損傷 – 区分1	算出方法
呼吸器感作性 – 区分1	算出方法
皮膚感作性 – 区分1	算出方法
生殖毒性 – 区分1B	算出方法
特定標的臓器毒性(単回ばく露) – 区分2	算出方法
特定標的臓器毒性(反復ばく露) – 区分2	算出方法
水生環境有害性 短期(急性) – 区分2	算出方法
水生環境有害性 長期(慢性) – 区分2	算出方法

参照 : 情報なし。

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

使用者への注意: このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。